

校長室からのお知らせ

1月28日号 NO.25

岸和田市立山直北小学校
校長 尾野 武志

エコな生活

本当に数少ない私の自慢の一つになっているのが、ボディソープやシャンプーやリンスを使わず、薬用せっけん一つで頭も顔も体も洗う「エコな生活」をしていることです。さらに、髪の毛を乾かすためのドライヤーは使用せず、バスタオルのみで済ませていますので、「地球にやさしい生活」を送っていると言えるかもしれません。

と書くと、いろいろ考えているようですが、単純にシャンプーとボディソープを使い分けるのがめんどくさくて（正しくは「面倒くさい」です）薬用せっけんに落ち着き、40年近く変わらない3週間に1回の割合で「一番短いスポーツ刈り（前も上もできる限り短く）」にしてしまう髪型のおかげでリンスもドライヤーも必要ないだけなので、「環境保護主義者」や「エココンシヤスな人」とは、ほど遠い存在です。

しかしながら、薬用せっけん（愛用しているのはCMでよく流れていた♪薬用せっけん ○ユー○♪ではなく類似品の値段が安い製品です）は、プラスチック容器ではなく紙の包装ですので、プラごみの削減になっていると思います。また、せっけんは、使用後も短時間で水と二酸化炭素に分解されるため、河川や海への負担が小さくなるそうです。

お湯に浸かるならのぼせるくらいまでゆっくり漬かりたいので、時間に余裕がない平日はシャワーで済ませます。さらに、薬用せっけん使用で短髪のため、シャワーの時間も短く、私が使うお湯の量はかなり節約できていると思います。私自身は「地球のために」という意識が低いというか、無意識ですが、少しは地球のためにがんばれているのなら、幸いです。

「地球温暖化」ではなく、「地球沸騰化」の時代が来たと言われています。「ツバル」や「キリバス」、「マーシャル諸島」などが2050年までに「沈む国」として、国土の維持と国民の移住（気候難民）という課題に直面しています。2100年には、大阪に東京に名古屋などが浸水被害を受ける可能性が高いと言われています。私たちの次の世代、その次の世代が安心して暮らせるように、「エコな生活」を続けていこうと思っています。